

「日本の夏」を語り継ぐ企画

最後に想いつきりピアノが弾きたい——
そこには決して過去にしてはいけな
い現実があつた

ピアノ・ソナタ「月光」による

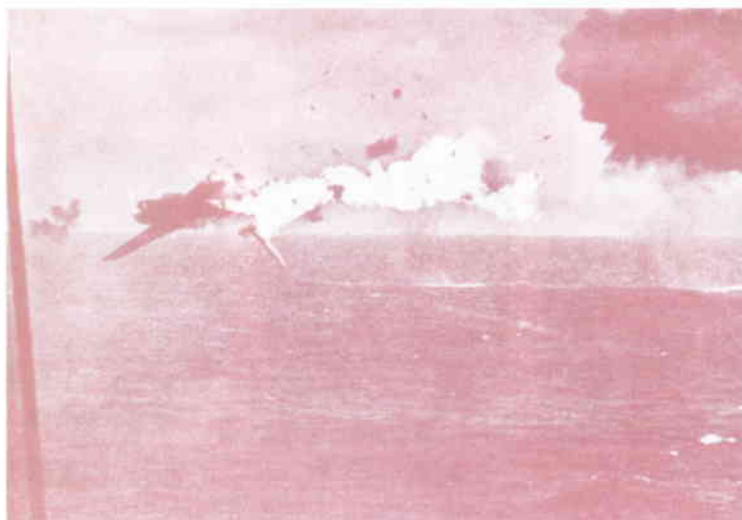
朗読劇

月光の夏

原作・脚本／毛利恒之(講談社文庫「月光の夏より」)

演出／鈴木完一郎・原田一樹

出演／南保大樹 清川佑介 和泉れい子 鮎野二紗子
ピアノ／根岸弥生



今こそ、命の重さを次世代に伝えよう——

生きたくても生きることが許されなかった青春!

朗読劇 月光の夏

ピアノ・ソナタ「月光」による

原作・脚本／毛利恒之（講談社文庫『月光の夏』より）
演出／鈴木完一郎・原田一樹

心の目で観る感動のドラマを

朗読劇『月光の夏』は、単なる朗読とは違います。ベートーヴェンのソナタ『月光』のピアノ演奏と（ドラマリ）ディング）がおりなす、新機軸のライブ・ステージです。

かつて、ラジオドラマは「心の劇場」と言われました。朗読劇もまた、観客の想像の世界をひろげます。のみならず、人間の息吹が伝わる、臨場感のある生の舞台です。名曲の調べとあいまって胸で聴く、心の目で観る、深い味わいの感動のドラマをおとどけます。戦争犠牲者の鎮魂と平和への祈りをこめて——。
（作者／毛利恒之）

佐賀県鳥栖市……。戦後四十五年のこの年、鳥栖小学校の古いグランドピアノが廃棄されようとしていた。かつて教師をしていた吉岡公子は、そのピアノに忘れられない思い出を秘めていた。そしてピアノを平和の願いの証しとして保存しようという思いから全校集会で生徒たちにその思い出を語る……。

太平洋戦争末期の昭和二十年初夏……。音楽を愛する学徒出身の特攻隊員ふたりが学校に駆けつけ、今生の別れにベートーヴェンのピアノソナタ「月光」を弾き、沖繩の空に出撃していった……。



南保大樹



清川佑介



和泉れい子



紘野二紗子



ピアノ／根岸弥生

照明／鶴飼 守 音響／高橋 巖 舞台監督／原野寛之 制作／横川 功

2015年 旭川市民劇場 9月例会

9月9日(水) 1:30

※本公演は一日のみの公演です

6:30

会場 = 旭川市公会堂

演劇で笑ったり、泣いたり、怒ったり。楽しく、大切な時間を、私たちと一緒に過ごしませんか。



会 員 募 集 中

会員になると年6回の演劇を鑑賞できます。
◇詳しくは旭川市民劇場まで◇
TEL: 23-1655
住所: 旭川市3条通8丁目緑橋ビル1号館2F

●入会金	2,000円
●会費(月)	一 般: 2,500円
	大 学 生: 1,000円
	高 校 生 以 下: 500円